



2023年9月12日

各位

会社名 沖縄電力株式会社
代表者名 代表取締役社長 本永 浩之
(コード：9511、東証プライム、福証)
問合せ先 総務部法務グループ長 上里 明史
(TEL 098-877-2341)

配当予想の修正に関するお知らせ

2023年7月28日に未定として公表しておりました2024年3月期の配当予想につきまして、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末 (2023年9月末)	期末 (2024年3月末)	合計
前回予想	未定	未定	未定
今回修正予想	5円00銭	5円00銭	10円00銭
前期実績(2023年3月期)	00円00銭	00円00銭	00円00銭

2. 修正の理由

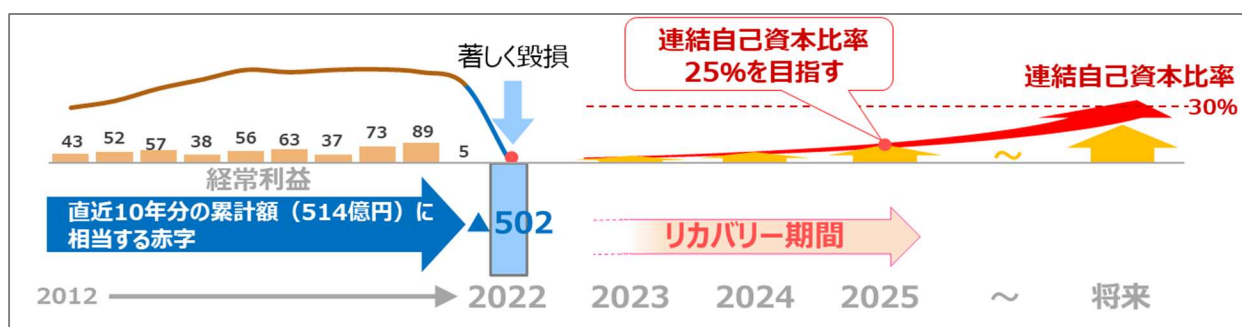
- ・ 当社の利益配分にあたっては、「安定的に継続した配当」を基本とし、「連結純資産配当率(DOE) 2.0%以上」を維持することとしておりますが、2022年度的大幅赤字に伴い財務基盤が大きく毀損したことから、その回復に注力するリカバリー期間(～2025年度)※を設け、同期間においては、以下の考えに基づき配当を実施してまいります。
 - ✓ 継続的に配当を実施するとともに、段階的に配当水準を引き上げ、リカバリー期間終了後に従来配当水準に戻すことを目指す。
 - ✓ 毀損した財務基盤の回復と株主還元のバランスを考慮して、各年度の配当額を決定する。
- ・ 2024年3月期の配当予想につきましては「未定」としておりましたが、上記考え方に基づき、中間配当を「1株当たり5円」、期末配当を「1株当たり5円」と修正いたしました。

※リカバリー期間については、別紙をご参照下さい。

以上

リカバリー期間の設定について

- ・ 2023年6月から、当社は43年ぶりとなる規制料金の値上げ改定を行いました。2022年度の決算においては、過去最大の損失規模となる▲502億円(単体)を計上しております。
- ・ この損失を受けて、当社の自己資本は著しく毀損しており、財務基盤の回復が急務の経営課題となっております。今後は、安定的な経営を継続していくため、当社の置かれた経営環境を踏まえ将来的には連結自己資本比率30%を目指して自己資本を積み増していきますが、まずは財務基盤の回復に注力する『リカバリー期間』(～2025年度)を設定し、連結自己資本比率25%を目指してまいります。
- ・ 『リカバリー期間』においては、電力の安定供給を前提に、カーボンニュートラル・成長分野などの投資や株主還元とのバランスなども考慮しながら、毀損した財務基盤の回復に注力してまいります。
- ・ また、リカバリー期間終了後の成長戦略についても鋭意検討してまいります。



以上